

1  キリスト教神学  
第8章 神の普遍的啓示  
一宮基督教研究所  
安黒務

2  「キリスト教神学」  
概略

- ①
1. 神を研究すること
  2. 神を知ること
  3. 神はどのような方か
  4. 神は何をなされるか
  5. 人間
  6. 罪

- ②
7. キリストの人格
  8. キリストのみわざ
  9. 聖霊
  10. 救い
  11. 教会
  12. 終末

3  第二部 神を知ること  
概略

- 第8章 神の普遍的啓示  
第9章 神の特別啓示  
第10章 啓示の保存: 霊感  
第11章 神の言葉の信頼性: 無誤性  
第12章 神の言葉の力: 権威

4  序

1. 本章の目的
2. 本章の概容
3. 研究課題

5  第8章 神の普遍的啓示  
概略

1. 啓示の性質
2. 一般啓示の領域
3. 一般啓示の現実と有効性
  1. 自然神学
  2. 自然神学に対する批判
  3. 一般啓示の否定
  4. 関連聖句の検討
  5. 自然神学なしでの一般啓示
4. 一般啓示と人間の責任
5. 一般啓示の意義

## 6 □ 第1節 啓示の性質

1. 有限な存在と無限の存在
  1. 一般啓示
  2. 特別啓示
2. 神の自己啓示
  1. 自然
  2. 歴史
  3. 人間存在

## 7 □ 第2節 一般啓示の領域

1. 自然: 詩篇19:1、ローマ1:20
2. 歴史
  1. 神が歴史と国家の運命を
  2. イスラエルの民の保護
3. 人間
  1. 道徳的、靈的資質
  2. インマヌエル・カント: 道徳的衝動
  3. 人間の宗教的性質

## 8 □ 第3節 一般啓示の現実と有効性

### 自然神学

1. 聖書を抜きにして自然神学を構築可能
  1. 客観的、有効、合理的な一般啓示
  2. 認識する人間は信頼できる状態
  3. 人間の知性は創造世界と適合
  4. 理性のみでたどり着ける
2. トマス・アクィナス: 傑出した業績
  1. 発展した背景
  2. 外的な問題
3. 純粋な理性によって証明
  1. 宇宙論的証明
  2. 目的論的証明
    - ・ 宇宙は機械装置にたとえられる
  3. 人間論的証明
  4. 存在論的証明
    - ・ アンセルムスの言明

## 9 □ 第3節 一般啓示の現実と有効性

### 自然神学に対する批判

1. 長い間半ば神聖視 - 今日では批判
2. 前提としている事柄 - 問題の指摘
3. 議論を推し進めていく道筋
4. さらなる問題の示唆
5. 原因という概念 - 不確かな立場
6. 目的論的論証への批判
  1. 生物進化の理論
  2. 悪性目的論的

## 10 □ 第3節 一般啓示の現実と有効性

### 一般啓示の否定

1. カール・バルト: 自然神学と一般啓示を否定
2. ナチス運動を公然と反対
3. 啓示の本質 - 贖罪的
4. イエス・キリストにおける神の啓示なしに
5. 妥協なくして啓示なし
6. 自然神学を支持する聖書箇所の問題
  1. 個線を許容する形で本節を解釈できるか
  2. 矛盾するが、両者とも有効
  3. 個線を本筋に矛盾なく解釈

7. バルトの詩篇19篇の解釈
8. バルトのローマ1章の解釈
9. バルトの解釈 - 宇宙に神を見出すのは、特別啓示により知っているから
10. バルト: 自らの立場を幾分修正
11. バルトの前提 - 疑問が残る
  1. 神の啓示は、排他的にイエス・キリストによるものである
  2. 真正の啓示は、無視されたり拒否されたりすることなく、つねに肯定的に受け入れられる
  3. 神についての知識は、その本質において、つねに贖罪的、救済的である
12. バルトの前提 - 不適切な説得力を欠く

## 11 第3節 一般啓示の現実と有効性

### 関連聖句の検討

1. 詩篇19篇
2. ローマ1, 2章
3. 使徒14:15 - 17
4. 使徒17:22 - 31

## 12 第3節 一般啓示の現実と有効性

### 自然神学なしでの一般啓示

1. カルヴァンの提案
2. 一般啓示 - 神を明確に認識不可
3. 人間への罪と墮落の影響
4. 未信者が一般啓示で神を知ること不可
5. カルヴァン: 「信仰の眼鏡」
6. 福音のうちに見出される特別啓示
7. 一般啓示で自然神学構築不可

## 13 第4節 一般啓示と人間の責任

1. ローマ1, 2章の人間へのさばきについて
2. 未信者が内に持っている「律法」
3. 知らずに神のあわれみに委ねるとしたら
4. 二つの否定的反応
5. ローマ2:1 - 16の記述

## 14 第5節 一般啓示の意義

1. 福音と未信者の思想の間 - 共通の基盤、接点
2. 一般啓示: 特別啓示を補足するもの
3. 福音を十分なかたちで聞いたことのない人々: 責任を負っている
4. 一般啓示: 世界的な現象に説明
5. 創造と福音: 理解可能で一貫性をもった神の啓示
6. 真の知識と道徳: 獲得できもものではなく、神による“開示”